



鹿児島県護憲平和 フォーラム情報

NO—9 2012.2.1

発行：鹿児島県護憲平和フォーラム E-mail:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿児島市鴨池新町5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

「脱原発」を軸にこの国を変えよう

鹿児島県護憲平和フォーラム 副代表 児玉靖正



西暦を未だ取り入れず、この「年越し」を日常と変わることなく淡々と送る国、民族がまだどこかにあるはずだ、などと思いつつながら 2012 年の年明けを迎えました。

「3.11」という体験を経て、私たち自身の、私たちの身のまわりの、そしてこの国の、何が変わり、何が変わっていないのか、思考したり、検証しようという意欲すらそぎ落とすような空気が漂っています。この国は、「3.11」を早くも歴史の闇に封印しているように思えます。

昨年7月頃「セツ森書館」から書籍案内のパンフが東京新聞の切り抜きコピーと一緒に送られてきました。そのコピーは、原子力情報資料室の設立に尽力された故高木仁三郎さんについて書かれたものでした。

私も「3.11」を機に書棚から高木さんの本を引っぱりだした一人でした。私が、選んだのは彼と花崎皋平さんとの対論「あきらめから希望へ」でした。チェルノブイリ事故から1年、事故による悲惨な被害の実態が明らかになる一方、反原発の運動も日比谷公園に2万人集まるなど、大きく高揚しました。しかし、この国は何一つ

変わることはありませんでした。

その頃、高木さんは、原発技術者に蔓延する「組織されたあきらめ」を批判し、「希望の組織化」を語り続け、1987年4月の朝日新聞に次のように話しています。(以下は「東京新聞」から引用)。

「私はあきらめに対置して『希望をこそ組織しよう』と言いたい。かのパンドラの箱にひとつだけ残っていたのは希望で、ギリシャ神話によればそれこそが私たちを生かし続けてきたものだった。かの技術者は『甘い』というだろう。だが、『冷めたあきらめ』より『甘い希望』を選ぶしかあるまい」と。

「ウォール街を占拠せよ。カレ・ラースンが仕掛けた反格差運動は全世界に飛火しました。

「3.11」以後、全国各地で「パレード(デモ)」によって世の中が変わる」と信じ、デモに繰り出した多くの若者がいました。

ただ、「フクシマ論」で脚光を浴びた開沼博さんは話します。「中央の人間の一時の熱狂から醒めて去った後、最後まで残るのは汚染された土地と補償問題、そこに生きる人々の『日常』です。その現実を見ることにこそ、宙づりになりつつある『フクシマ』という難問への答えと希望がある。」(2011年9月13日朝日)

当面する鹿児島市議選での勝利、春闘、脱原発のとりくみに全力を尽くしましょう。

組合員の皆様のご健勝と奮起を心から祈念します。

さようなら原発 1000 万人署名行動報告

鹿児島市繁華街で街頭署名行動展開

「さようなら 1000 万人署名行動」鹿児島県実行委員会は、2012年1月21日(土)及び2月28日(土)、13時から15時にかけて、鹿児島市の繁華街4箇所、街頭署名を展開しました。その結果、2日間延2,034筆の集約を得ることができました。

《第1次街頭署名行動》(1/21)

天文館地域 (3箇所) (①天文館アーケード入

口・②マルヤガーデン前・③山形屋前)

参加者 30名 : 566筆

JR 鹿児島中央駅前

参加者 28名 : 632筆 トータル=1,198筆

《第2次街頭署名行動》(1/28)

天文館地域 (3箇所)

参加者 13名 : 310筆

JR 鹿児島中央駅前

参加者 25名 : 526筆 トータル=836筆

県外旅行者や若者が率先して署名に協力

神奈川から子どもと鹿児島へ疎開



JR 中央駅前での街頭署名行動では、新幹線効果もあってか、署名も県外旅行者が多く、熱烈的な協力者もいてカンパもいただいています。また、塾帰りの小中高生や部活帰りの高校生が積極的に協力してきています。また、放射能汚染を恐れて神奈川から子供と奥さんだけ鹿児島に疎開してきている人もいました。「夫だけ残して夏に疎開してきました。子どもが心配です。2度とこんな思いをしたくありません。脱原発社会を実現してください。」「ただ、鹿児島の薩摩川内市にも原発があるんですね。心配です。」と不安を話され、カンパもしていただきました。

天文館でも3箇所です署名行動

天文館では、天文館アーケード入口、マルヤ

ガーデン (旧三越デパート前)、山形屋前の3箇所、街頭署名を展開しました。

各会場も買い物客が多く、荷物を持っての署名に、てこずる場面もありましたが快く署名に応じてくれました。

2月にも2回街頭署名を実施

2月にも18日(土)、25日(土)の2回同場所、同時間帯で街頭署名を展開します。多くの署名行動への参加をお願いします。ただ、それでも県内で17万筆の署名集約には追いつきません。各労組や知り合いなど、署名集約にご協力をお願いいたします。この署名は、3月24日までに中央で集約することになっています。残された期間「脱原発実現」へ向け全力でとりくみましょう。



馬毛島への米軍訓練基地等の移転反対!!

全国から寄せられた 91,912 筆の署名を西之表市長に手渡し、激励



2012年1月27日、県護憲平和フォーラムの荒川代表と野呂代表、山崎事務局長ら九州・沖縄8県の平和運動センター・労組会議・フォーラムは、西之表市役所を訪れ、荒川議鹿児島県護憲平和フォーラム代表(鹿児島に米軍はいらない県民の会会長)が全国から寄せられた91,912筆の署名を長野西之表市長へ手渡しました。そして、同席した川村西之表市議会議長ともども、馬毛島への米軍訓練施設移設反対のたたかいを

市民と一緒に引き続き強めていただくよう激励し、要請しました。長野市長は、「全国のみなさんが馬毛島の問題に関心を持って応援していただいていることを実感でき、大変心強い。これからも地元住民の声をしっかりと踏まえ、反対を堅持してとりこんでいく。」と決意を明らかにしました。

また、同日、荒木屋久島町長への激励もしました。荒木町長は「世界自然遺産の屋久島の近くで米軍が訓練をおこなうのは問題だ。引き続き反対していく。」と、力強く表明しました。

2012年1月30日現在、北海道、愛知、三重、岡山、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分など全国各地から、既に手渡した署名を含め112,225筆の署名が寄せられています。全国の仲間の支援・協力に感謝し、馬毛島への米軍訓練基地建設反対運動を粘り強く闘いぬくことが求められています。

九ブロ 馬毛島米軍基地化反対を防衛省と外務省へ申入れ

2012年1月24日、県護憲平和フォーラムの野呂代表と山崎事務局長ら九州・沖縄8県の平和運動センター・労組会議・フォーラムと平和・人権・環境フォーラムの代表12人は、社民党の重野・照屋・中島衆議院議員及び吉田参議院議員とともに防衛省及び外務省へ赴き、馬毛島への米軍訓練基地等の移転に反対するとともに、地元自治体の了解なしに2012年度政府予算案に計上された馬毛島のFCLP(米軍空母艦載機陸上離着陸訓練)施設の調査費を執行しないことを明言するよう強く求めました。

防衛省は、「地元の理解と協力が大切であり、地元の思いをしっかりと受け止めて対応する」と言いながら、熊毛地域のすべての首長と議会議長が反対し、住民の過半数が反対署名をしていることから地元の思いは明白なので、馬毛島への移設計画を断念し、白紙撤回するよう迫るわたしたちに対し、「地元の理解を得るために努



力したい」とくり返すばかりで、調査費についても言を左右にし「地元自治体に説明しさえすれば調査費予算の執行を強行する」かのごとき姿勢があらわになりました。

当日申し入れた普天間基地の即時閉鎖・返還、新基地建設撤回、大分県日出生台での在沖縄米海兵隊による実弾砲撃演習中止、長崎県佐世保港への最新鋭強襲揚陸艦配備反対の課題を含め、反戦平和のとりくみを職場・地域から巻き起こすことを確認しあいました。

2月の行事日程紹介

- 2月4日(土) 連合鹿児島市議選勝利総決起集会 14:00 鹿児島市民文化ホール
2月4日(土) 全国被爆二世団体全国協議会総会 13:00 (～5日(日)12:00) 広島市
2月5日(日) 日出生台訓練反対九プロ集会 13:00(～6日(月)12:00) 大分県玖珠町
2月11日(土) **2.11 紀元節復活に反対し、思想・信教の自由を守る集会** 10:00～ 県教育会館3階
高嶋伸欣さん(琉球大学名誉教授) 「教育の国家統制と思想・信条の自由」
2月11日(土) 北薩ブロック1000万署名活動 16:00～ 川内駅, 出水駅
2月18日(土) さようなら原発1000万署名第三次街頭行動 13:00～ 中央駅・県教育会館
2月19日(日) 北薩ブロック1000万署名活動 16:00～ 川内駅, 出水駅
2月25日(土) さようなら原発1000万署名第四次街頭行動 13:00～ 中央駅・県教育会館
2月26日(日) 原発再稼働にNO! いのちが大事! さようなら原発九州総決起集会
13:30～15:30 佐賀市・どんどん広場

3月の行事日程紹介

- 3月1日(木) ビキニデー全国集会 18:00～ 静岡市
3月10日(土) 福島からのメッセージ14:00～16:30 かごしま環境未来館
内容(福島の話+映画「脱原発いのちの闘争」) 資料代(800円)
3月11日(日) **3.11 さようなら原発鹿児島パレード** 鹿児島中央駅東口・さつまの群像前広場
10:00～ 太陽の広場(出店) 13:00～ 集会 14:00～17:00 デモ
3月11日(日) さようなら原発福島県民集会(仮称) 13:00～ 福島県郡山市開成山球場
3月24日(土) さようなら原発1000万人署名集約集会 13:30～ 東京・日比谷野音
3月24日(土) 第15回脱原発講座 14:00～ 薩摩川内市
山下紀明さん 「自然エネルギーで新しい街づくりを」(仮題)

2.11 「紀元節」復活に反対し、 思想・信教の自由を守る県民集会 2月11日(土) 10:00～ 県教育会館3階 「教育の国家統制と思想・信条の自由」

講師：高嶋 伸欣さん(琉球大学名誉教授)

2009年の政権交代後、植民地支配についての反省とお詫びを表明する菅首相談話が2010年8月に出されるなど、一定の前進面も生まれましたが、他方で朝鮮半島をはじめ東アジアの緊張状態は強まり、朝鮮学校は高校無償化の適用対象から排除されたままです。そのなかで、昨年、問題の多い育鵬社版の中学歴史・公民教科書の採択が増大しました。また、管理主導の大阪府教育基本条例など教育をめぐる課題も噴出しています。今年は、教科書や教育問題をテーマに集会を開催します。ぜひ、ご参加ください。